

平成 26 年度地域医療・介護連携推進事業 一関コミュニティFM (FM あすも) 番組
放送日：平成 26 年 7 月 9 日 (水) 17:20~17:30 (塩竈一常 GET KING!!)
(再放送：7 月 13 日 (日) 9:10~9:20 REFRESH!!)

「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」

第 1 回放送 岩手県看護協会一関地区支部 佐藤信一 支部長
(岩手県立南光病院 総看護師長)

(聞き手：FM あすも 塩竈一常)

塩竈 一関市では高齢化が進む中、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう医療から介護への切れ目ないサービスを目指しています。さあ、このコーナー「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」は、医療機関・介護施設の役割、利用の方法など、医療・介護・福祉関係者と市民がともに理解・協力することを目的に一関市健康づくり課の提供でお送りします。

塩竈 さて、2 月と 3 月に 4 回に渡ってお送りしてきました、この「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」言わばセカンドシーズンを今日からお送りしていきます。これまで 4 回お送りしたんですね。医療と介護の連携連絡会の幹事長にお越しいただいたり、医師会・歯科医師会・薬剤師会それぞれの会長・副会長にスタジオにお越しいただきまして、この地域医療というのを進めていく、その取り組みなどについて説明していただきました。さて、今日は 5 回目の放送になります。今日は岩手県看護協会一関地区支部支部長、そして県立南光病院の総看護師長 佐藤信一さんにお話を伺います。

塩竈 今日はスタジオに県立南光病院の看護科総看護師長の佐藤信一さんにお越しいただきました。佐藤さんよろしく願いいたします。

佐藤 よろしく願いします。

塩竈 佐藤さんはもうひとつ肩書がありまして、岩手県看護協会一関地区支部長を務めていらっしゃるようです。佐藤さん、この看護協会の会員のみなさんっていうのは、今何人くらいの方々がいらっしゃるんですか。

佐藤 岩手県の会員の数ですけれども、約 7,000 名おります。そして一関地区では、4 月 30 日時点で 23 施設 425 名の会員の方が入会されております。

塩竈 この会員の皆さまが仕事をしているところって大体どういったところになるんでしょうか。

佐藤 主に病院、老人ホーム関連、訪問看護ステーション、看護学校の先生、保健所や市の保健センターの保健師さん、そして支援事業所、そして個人会員の方など、様々な所で働いている方々で構成されております。

塩竈 自分が病気になったりとか、また介護を必要にしたりとか、そういった時にこうお世話になる皆さんがほとんど会員になっていらっしゃるって形ですね。

佐藤 そうですね。

塩竈 この看護協会、会員の皆さんが集まるところになりますけれども、どういう取り組み、またどういったことをしているのが、この看護協会になるんですか。

佐藤 看護協会は、保健師さん、助産師さん、看護師さん、准看護師さんが一緒に、教育と研鑽に根差した専門性に基づいて看護の質向上を図ったり、安心して働き続けられる環境づくりを推進して、そして人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図ることによって、皆さんの健康な生活の実現に寄与することを目的とし

て活動している団体です。簡単に言いますと、専門職業人として看護の質を向上させるために勉強したり、研究をしたりして自己研鑽をしている職能団体ということになると思います。

塩竈 なるほど。こういった専門職になりますので、新たに学ばなければいけないものであったりとか、いろいろその技術、また使うものの進歩に伴って、どんどん、こういった能力っていうものを高めていかなければいけないわけなんです。

佐藤 そうですね。日進月歩ですので、私達も常に自己研鑽していかなければいけないという職業です。

塩竈 特に医療なんていうのは、そういった日進月歩の速度ってのがもっと速いような感じがしますもんね。看護師さんの方々が、この業界には多くお仕事されているということなんですけども、看護師という職業を聞くと不足しているという言葉が必ず後ろに付くほど、よく世の中では看護師さん不足っていうのが叫ばれているようですよ。

佐藤 そうですね。現在の看護職人口は全国で147万人程です。看護職は全国的に不足している状況です。そして18歳人口の減少に合わせて、看護師が不足していくことが、ますます懸念されている状況です。これからの若い方達が、ひとりでも多くの方が、看護師を志していただけるようにと思っています。

塩竈 この看護というこの仕事、まずどういった仕事なのかというところを知ってもらうところもまずひとつ大事な訳ですよ。

佐藤 看護のことを多くの方に知っていただけますように、「看護の日」を設けてふれあい看護体験実施とか、市内のショッピングセンター等で血圧測定・体脂肪測定・健康相談等を行い、看護をPRしております。体験には高校生の方がいらしてきてますけれども、やはりもう少し学年を下げまして、中学生の方々に看護協会の

ほうから出前授業を試みたりなんかして、1人でも将来の看護師を目指す人を掘り起こしていきたいなと思っております。

塩竈 今、その看護師というお仕事がおかれている状況であったりとか、それからそういった皆さんが集まる看護協会がどういった取り組み、何をしている所なのかというのをまずは皆さんにご紹介しました。さて、佐藤さん、一関ではですね「まちの保健室」というのが実はあるそうなんです。

佐藤 平成16年9月から、ボランティアの方達の協力で「きらめき一関まちの保健室」が毎月の第1土曜日午後1時半から4時まで現在は、なのはなプラザ4階で実施しております。

塩竈 これは、この「まちの保健室」というのは開かれて、ここで何が行われているんでしょうか。

佐藤 そこでは、血圧測定とか体脂肪測定・健康相談等しております。気軽に寄っていただければと思います。

塩竈 毎月第1土曜日の午後1時30分から夕方4時まで、第1土曜日が祝日の際は翌週になるということなんです。

佐藤 8月と2月は、8月31日に「市民フェスタ」というのが、なのはなプラザでありますので、その時に合わせて「まちの保健室」を開催したいと思っております。そして2月は、2月1日のわんこ餅大会の場所で一緒に「まちの保健室」を行いたいと思っております。

塩竈 なのはなプラザ4階で開催されていまず、毎月第1土曜日の「きらめき一関まちの保健室」について、お話を伺いました。佐藤さんは、南光病院の方で今、総看護師長というお仕事をされているんですけども、あらためてこの南光病院、その取り組みですとか様々なお知らせなどありましたらお願いします。

佐藤 私の職場はですね、南光病院というところですよ。南光病院は、皆さんがご存知のように精神科病院なんですけど、精神科病院は、心の病気の方が通院や入院をして治療するところとなっております。今、精神科病院も入院中心の医療から地域中心の医療へと変わってきております。病気が良くなったら、まず早めに退院して、地域で暮らしていくことが、患者さんや家族にとっても良いことです。地域の皆さんにお願いですが、退院＝仕事をしなければいけないというように、まずは見ないでいただければと思います。やはり仕事を見つけるまでには時間がかかりますので、こう地域で生活しながら病気をコントロールしながら暮らしているということを理解していただければなと思っております。

塩竈 こういった心の病に関しては、これまで日本のその社会の中で、あまりここに注目したりとか、それからどんな治療が行われているかっていうところ、そういった知識を学ぶ機会というのが少なかったようなんですけれども、最近では、またこの精神疾患心の病というのも加わって健康を保っていくのがとても大事だというのが叫ばれる世の中に変わってきましたよね。

佐藤 そうですね。皆さんもご存知かと思いますが、4大疾病というのがありますが、4大疾病は、がんとか脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病を言いますが、そこに新たに精神疾患も加わって5大疾病というふうになりました。これはその何故精神疾患も加わったかというのは、職場のうつ病の問題とか高齢化に伴う認知症の患者さんが年々増加しているということが関係しています。心の病気っていうのは、いつ誰がなるか分かりませんので、そういう思いであたたく見守って行って欲しいなと思っております。

塩竈 なるほど、誰がなるか分からない。自分もそういった可能性ももちろんあるっていうことをしっかり認識しながら、いろんな知識っていうのもこれからも続けていくのもすごい大事ですよ。

佐藤 はい、そうです。

塩竈 さらには、こういったものは、先ほどの4大疾病っていうのも、その予防対策ってこれまで言われていましたけれども、心の病気に関しても、その予防っていうのもやはり大事なんじゃないでしょうか。

佐藤 病気になった際には、早期発見・早期繋げることが、患者さんが入院せずに早く復帰させることにもつながります。現在南光病院では、精神科認定看護師が3名おります。認定看護師というのは、優れた看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践を看護現場で看護ケアの質の向上を図る役目を担っております。病気の正しい知識を持っていただくために、地域の方々から講義の依頼があれば、認定看護師が皆さんのところに出向いて行きたいと思っております。

塩竈 出前講座というのが昨年から取り組みが始まったということなんですね。

佐藤 はい、そうです。

塩竈 それぞれのその地域等で、その精神疾患であったりとか、そういった病気についてもそうですね、その予防策等についてもいろいろこう直接質問したりとか、学ぶ機会があるということなんですね。

佐藤 はい。

塩竈 では地域に来て話しをもらいたいというそういう方がいらっしゃいましたら、また連絡のほうしていただきたいと思います。佐藤さん、連絡先の方どちらにしたら良いでしょうか。

佐藤 問い合わせはですね、南光病院、電話番号ですが、0191-23-3655 内線7700まで連絡をいただければご相談に応じたいと思いますので、よろしくお願いいいたします。

塩竈 今日は、まず岩手県看護協会一関地区支部こういった取り組みをされているのかという

お話し、そして、この支部長の佐藤さんは南光病院看護科総看護師長を努めていらっしゃるということで、この南光病院の取り組みなどについても様々お話を伺ってまいりました。今日の「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」のコーナーですが、スタジオには、県立南光病院看護科総看護師長、さらに岩手県看護協会一関地区支部長の佐藤信一さんにお越しいただきました。佐藤さん、今日はどうもありがとうございました。

佐藤 どうもありがとうございました。

塩竈 私達が住んでいるこの一関の街ですが、高齢化が進む中、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、医療から介護へと切れ目ないサービスがある、こういった街を今、目指しているんですね。このコーナーでは、医療機関、また介護施設の役割、利用方法等、そこでお仕事をされている方とそして利用する私達がともに理解して協力する、これを目的にしてお送りしています。地域医療体制の充実のため、私達も積極的にこの地域医療に関わっていくのが大事です。「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」。このコーナーは、一関市健康づくり課の提供でお送りしました。第2週と第4週の水曜日このコーナーをお送りします。